

殺された胎児たち

参加費
無料

- 強制墮胎された胎児の「慰霊・供養」と 標本とされた胎児たちの問題について -

1996年までハンセン病療養所では、当時の医学的な根拠がない中、長い間子供を産むことが認められず、強制的な墮胎手術が行われていました。また結婚をする条件として、男性は「断種手術」が課せられていました。それでも多くの生れてくるはずの子供たちが、ある者は出産間近か、ある者は出産直後に「墮胎」という名目で殺されていきました。

このことは多くの証言で裏付けられています。また全国の療養所で、多くのホルマリンづけにされた胎児たちが発見されています。

しかしこの事実はあまり知られていません。本年3月に沖縄愛楽園、宮古南静園で強制墮胎された子供たちの「慰霊」を目的とした碑が建立されるにあたって、この問題について学びたいと思います。

とても深刻な私たちの社会の問題ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

期日：2月16日(金) 18:30～20:30 (予定)

講師：訓覇浩さん、浜崎眞実さん (ハンセン病市民学会宗教部会)

会場：那覇市NPO支援センター ミーティングルーム

国際通り三越向い「てんぶす那覇」3階

共催：ハンセン病市民学会 宗教部会 ハンセン病問題ネットワーク沖縄

問合せ先

ハンセン病問題ネットワーク沖縄

〒901-2225

沖縄県宜野湾市大謝名3-7-1

電話/FAX 098(890)2491

Email: hanetokinawa@yahoo.co.jp

